



富山県婦人防火クラブ連絡協議会会長 松岡 昌子

私の父、亡きあと神奈川の平塚、某寺に住むことが多くなり富山と平塚往復の日々が今も続いています。

さて、3～4年前の3月、平塚でのできごと。春の陽光も沈み冷気が身をつつむ夕刻、自坊裏の竹林から出火。主人はバケツで火の元へ。“焼石に水”全く寄せつけず、手のつけようありません。馳せつけた人、人。消火器を持って来た人たちも手の施しようがありませんでした。そこへ消防車(含救急車)数台が到着、一斉放水。なんと、またたく間に鎮火。驚くべき威力を感じました。



鎮火後、気付いたこと。

1. 早期発見、初期消火の遅れが悔やまれます。
2. 出火当初は無風状態、でも火勢は風をよぶもの…にもかかわらず近隣の家々に全然延焼せず、自坊も無傷、不幸中の幸いでした。
3. 怪我人は皆無。家屋出火と屋外出火は異質かも。
4. 家人は消火にとらわれており、発見者の誰かが119番通報してくれたのでしょう。感謝しています。
5. 竹藪が焼けると、バーン、バーンと音がするもの。前庭へでて、まわりの家々の様子を見渡したのですが、まさか裏庭だったとは……。

墓参りの人が置き忘れたライター類は子供たちにとって枯葉を燃して暖をとるのに、そして竹藪の中は遊び場に好適だったのではと思われます。

なお当日は父の命日。目に見えない加護が働いたものと信じています。また県婦防では“火元は大丈夫ですか”を合言葉にしていますが、家族に火元のスイッチの切り忘れがないか、たばこの火の始末は大丈夫か……等口うるさい程声をかけ火災防止に意を配っております。

(消防庁機関紙「消防防災／2006－16・春季号」より転載)

▲ [このページの上に戻る](#)

目次

1. [平成17年度 民間防災組織の状況](#)
2. [平成18年春の叙勲](#)
3. [愛知県婦人消防クラブ連絡協議会運営委員会の開催](#)
4. [岩手県婦人消防連絡協議会 新会長紹介](#)
5. [道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
6. [婦人\(女性\)防火クラブ会長活動報告](#)